



# 若竹だよい



- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切に作る人間となろう  
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

## 【巻頭言】

### 自然の恵み



#### 園長 宮竹 恒

新緑の5月、自然の中で過ごすのが心地よい季節になりました。学園の子どもたちは、当たり前のように自然に親しんでいます、実は大切な体験を日々積んでいると思います。

山の中を歩いてタケノコを掘りに行き、自分たちで皮を剥き、天ぷらにして食べる経験等は当たり前ではないかもしれません。

五色台の山を下りると、すぐに海が広がっており、釣りに出かけることもあります。連休中、思いのほか釣果があり、喜んで帰ってきました。釣った魚はフライにして食べたのですが、「この魚は、骨がある。」と言う子どもがいました。確かに学園では、骨を除いた魚が献立に並びます。普段は魚が苦手な子どもも釣った魚はよく食べています。

自然の恵みは、食べることだけではありません。小枝と野草の茎を拾ってきてペンダントを作り、首に飾って大切そうに見せてくれる子もいます。よく園庭や周辺の坂道を歩いたり、走ったりして過ごしている子は、いつの間にか体力が付き、走るのも速くなっています。子どもたちの様子を見てみると、心と体の成長に自然の力が大きく影響していることを感じます。

将来、子どもたちが自然の有難さを思い出すような体験を多く提供し、成長を見守っていきたいと思います。

—了—

子ども達はタケノコの周りの土をスコップで根気よく掘っていました。「後少してタケノコが抜けるから…」と言って、最後まで熱心に作業に取り組んでいました。



学園に帰って来て、皮むきを行いました。初めてする子どもも多く、やっつけて楽しいという声を多くききました。タケノコの皮を丁寧にむき伝統

工芸のような仕上がりになっている子どももいて、一緒にしていて楽しかったです。

## 5/1 流しそうめん

子どもと職員で採ってきた竹を割って流しそうめんをしました。コロナ・衛生面の対策も取り入れ行いました。トングで素麺を大きい器にとり、椅子に座りお箸で食べました。

女の子たちが流しそうめんをしている時に、男の子たちが職員と一緒にそうめんを流したり、水の速さを調整したりするなどのお手伝いしてくれました。男の子たちが流しそうめんをしている時には、女の子たちが手伝ってくれました。皆が協力してくれたおかげで楽しい時間を作ることができました。竹の子や野菜、南瓜の天ぷらもいただきました。特に、竹の子の天ぷらは、みんなで一緒に取りに行ったので、非常に美味しそうに食べていました。プチトマト・キュウリの千切り、デザートに飴やチョコレートも流しました。コロコロ流れてくるトマトや飴をみて子どもからは可愛いと大好評でした。春から夏の季節に移り変わり、流しそうめんをより楽しめる時期が来るので、今後も行ってみたいです。



## 5/3 サバイバルゲーム

安全に配慮して当たっても怪我をしないように行いました。

前は、風の影響によって障害物が倒れてしまい、障害物に隠れながら対戦することが困難でした。しかし今回は天候に恵まれ、風の影響もなく、絶好のサバゲ一日和でした。今回は、職員も参加して子どもと一緒に作戦を考えており、大人と子どもが一緒になって

楽しむことができました。弾を補充する人と拠点を守る人、相手の拠点を制圧する人など役割を決めて対戦しているチームもあり、大盛況でした。

今後も対戦ルールの内容を変更するなどしてより子どもたちが楽しめるように行っていきたいと考えています。



## 5/3 さかなつり

久しぶりに釣りに行きました。

穴釣りをを行い、堤防の隙間にいる魚を子ども達が一生懸命狙っていました。今回は天候にも恵まれて、15 cm以上の魚を3人の子ども達が釣りました。取った魚は学園で素揚げにして頂きました。



## 5/4 サッカー観戦

カマタマーレ讃岐 VS FC今治の試合をピカラストジアムに観戦しに行きました。

結果は惜しくもカマタマーレが1-0で負けてしまいましたが、初めてサッカーを観戦する子もいたようで、楽しんでいました。

観戦の日から学園では、試合に感化されたようでサッカーがブームになっています。ある子どもは「パスをつなぐことが大切だ」と説いて他の子どもにもパスの重要性を教えることができました。また機会があれば観に行きたいと思います。



## 5月行事

GW 行事：流しそうめん・釣り			
サバゲー・サッカー観戦・逃走中			
6日	体育館	16・17日	中間テスト
7日	峰山公園	17日	買物外出
14日	ダンス	23日	分校現場説明会
15日	自然少年の家	24日	施設連絡会
16日	避難訓練	29日	流しそうめん

## 5/5 逃・走・中

学園創成以来、2回目の逃走中をGWに開催しました。

第一回目に引き続き好評でした。ルールの説明段階から職員のハンターの姿に興味津々で目を輝かせて着目していました。この日は、普段館内で過ごす事が多い子どもも先陣を切



って準備運動をし、「絶対捕まらんけん！」と意気込んで宣言をしていました。休憩時間の間には笑いながら「次は見つからないように隠れよ！」と言いながら作戦を内々で練っていました。ハンター達がハーブ園まで追い込んでも、道中で先に失速してしまい、日頃の運動不足を痛感していました。

いつも以上に子ども達のやる気が感じられ、子どもも職員も目一杯楽しむ事が出来ました。

### 在籍人数

令和4年6月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	2	1	3
中学生	8	2	10
合計	10	3	13

**ご寄付ありがとうございます。**

**株式会社 タダノ 様**

**サッカー観戦チケット**

**編集後記** 今年のGWの行事でも、

子ども達のたくさんの笑顔が見れて、本当に喜ばしい限りでした。

新中学生は初めての間テストで苦悩をする表情が有り、少しでもこの様な行事の際には息抜きが出来る様に充実させていければと思います。 井上

### 第338発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒



# 青峰・若竹学級だより 5月

新緑の5月。何をするにも気持ちの良い季節になりました。五色台もみずみずしい緑に山つつじの赤が映える一年で最も過ごしやすい時期で、子どもたちも学習にスポーツにと一生懸命学校生活を過ごしています。

## 新体力テスト

5月6日(金)に国分寺町のB&Gの体育館とグラウンドにて新体力テストを



実施しました。天候にも恵まれ、運動には最適な気温のもと、昨年度より良い記録を出そうと子どもたちは真剣に取り組んでいました。



## I学期中間試験

5月16・17日には、中間試験がありました。中学1年生にとって初めての定期試験。答えを解答用紙に書くなど、小学校の試験とは勝手が違いながらも時間いっぱいテストに向き合っていました。

## 総合的な学習の時間

今年度は人権学習の一環として「ハンセン病」の学習をしました。今回の授業では話し合い活動や班活動にも取り組み、中3生が中心になって、ハンセン病について知っていることを話しあったり、なぜハンセン病について学



ぶのかを考えたりしました。

子どもたちは、外見や見た目でその人と距離を取ろうとしたり排除したりすることが差別につながり、そのことは自分たちの心の中にもあることを知りました。



**さよなら「プレハブ校舎」** 来年度からの分校化に向けて、新校舎が建設されるために、現在使用しているプレハブ校舎は6月から解体されます。そのため、授業は若竹学園の会議室等で行われるようになります。27日に子どもたちは自分たちが使う机や椅子、ロッカーを新しい教室に移動させました。